

### 1. 中国政府が支援へ、ミャンマーの少数民族問題

中国政府が、ミャンマー政府が進める同国の少数民族武装組織との和平交渉を支援する方針を示したことが分かった。5/14、中国政府の派遣した使節団が、ミャンマーの北部カチン州で開かれた各武装組織の代表者との会合に参加。会合に出席した武装組織の関係者によると、少数民族地域の安定は中国にも安定をもたらすとして、中国側が早期の和平合意を後押しすると表明した。使節団はまた、ミャンマーの首都ネピドーを近く訪問し、ミャンマー政府や軍の関係者と和平交渉について議論するとも語ったという。

### 2. 対ミャンマー制裁の一部継続=米

5/15、オバマ米大統領は、対ミャンマー経済制裁の一部継続を決定し議会に伝えた。同国軍部が依然として影響力を保持しているほか、西部ラカイン州で少数民族が弾圧されていることなどを理由としている。ホワイトハウスの発表によると、米国人は引き続き1年間、ミャンマーへの新たな投資などを禁じられる。オバマ大統領は2012年11月、ミャンマーの民主化を評価し、米大統領として初めてミャンマーを訪問。その後、両国関係は急速に改善されている。

### 3. シュエピタ工業団地内の台湾系の縫製工場でスト

5/08から、スター・タックスの縫製工場で約180人の労働者が、ストライキを続け、経営体制や待遇の改善を求めている。ヤンゴン北部のシュエピタ工業地区の工場前で始まった抗議集会で、デモ隊は工場長の解任を求めている。集会に参加する従業員の一人は、「われわれは工場長の解任まで続ける。会社側はわれわれとの協議に応じようとしなさい」とし、「12日以降は事務所にも来ていない」と語った。工場所有者である台湾系の女性は、9日に労働者側と会った後、労働者側の要求に何一つ応じていないという。地元郡区の労務当局の責任者は、「雇用者と被雇用者の問題。労働者側の要求には法的根拠がなく、法的に解決することはできない」とコメントしている。

### 4. フラインタヤ工業団地内の縫製工場でスト、300人以上が参加

5/07、ヤンゴン東部のフラインタヤ工業団地内にある日系縫製工場で、300人以上の労働者が参加して賃上げを求めるストを行った。参加者たちは日額400チャット(42円)の現行賃金の引き上げと、権利拡大を求めたという。スト参加者は、「7日に出社すると工場は操業しておらず、社長は従業員が会社との契約に違反したと主張してスト参加者を追い返した」と発生の経緯を説明した。一方、工場の経営者側は「従業員が会社の定めたルールに従うべきだ」と語った。

### 5. 南部タニンダーリのスズ鉱山、住民が公害と訴え

南部タニンダーリ管区で、タイ企業とミャンマー政府系の企業が運営するヘインダ・スズ鉱山が環境に悪影響を及ぼしているとして、地元住民がこのほど、補償などを求めてダウエー管区裁判所に訴状を提出、受理された。2011年以降、居住地の果樹などが枯れ、雨季には洪水に見舞われるという。

### 6. 改憲求め1万人集会=スー・チー氏ら民主化勢力=ミャンマー

5/17、ミャンマー最大野党、国民民主連盟(NLD)のアウン・サン・スー・チー党首ら民主化勢力は、軍事政権時代に制定された現行憲法の改正を訴える集会をヤンゴンで開いた。集会には約1万人が参加した。ミャンマー憲法には、改憲に当たって国会の25%の議席を占める国軍の同意を事実上必要とする条項がある。また外国籍の息子を持つことを理由にスー・チー氏の大統領就任を阻む条項もあり、NLDは改憲を求めている。スー・チー氏は集会で「われわれが民主化闘争を開始してから30年近くになるが、まだ民主主義は得られていない」と述べ、改憲の必要性を訴えた。

### 7. 中国人労働者2人を誘拐、翌日解放

5/18、同国北部ザガイン地域で同国企業と中国企業との合弁で進められている銅山開発をめぐる、反対運動を行っている住民グループが、中国人労働者2人を誘拐した。警官隊が2人を保護しようとして、住民グループとの間で衝突となり、少なくとも警官側の3人が負傷した。中国人労働者は開発予定地にフェンスを設置する作業を行っていて、住民らに囲まれたという。銅山開発の反対運動では、これまでも警官隊が住民グループを強制排除して負傷者が出るなどしている。5/19夕、拉致され人質となっていた中国人の工事関係者2人が解放された。中国人2人はミャンマー人1人とともに、建設に反対する「マンダレー学生ネットワーク」と名乗るグループのメンバーらに拉致された。ワンバオの広報担当者は、拉致したグループと取引をしたわけではないという。

## 8. 襲撃で警官4人死亡、ミャンマー西部

5/17、ミャンマー西部ラカイン州のバングラデシュ国境付近で、警察の詰め所が武装グループに襲われ、警官4人が死亡した。イスラム教徒少数民族ロヒンギヤの武装勢力「ロヒンギヤ団結機構」による襲撃とみられる。1980年代に結成した同機構は、最近再び活発な動きを見せている。

## 9. ヤンゴン空港でのSIA乗務員の緊急対応称賛＝シンガポール人材開発相

5/22、シンガポールのタン・チュアンジン人材開発相は、自身が搭乗したシンガポール航空(SIA)SQ998便(エアバスA330型機)が5/21、ミャンマーのヤンゴン国際空港で着陸の際にハードランディングになりそうな状態に陥ったことを明らかにした。その上で、SIAの乗務員の賢明な対応により事なきを得たと、乗務員の働きを称賛するメッセージを自身のフェイスブックで発表した。

## 10. 最近の外資の進出状況

### ・韓国連合の大型ホテル、ヤンゴンで着工へ

ヤンゴンで、韓国の大手企業連合による大型ホテルの建設が始まる。総合商社の大宇インターナショナルやロッテ・ホテルが参画するプロジェクトで、総工費は2億2,000万米ドル(約225億円)。2016年の開業を目指す。

### ・KDDI、MPTと携帯事業で提携合意の見通し

ミャンマー郵電公社(MPT)が今月末をめどに、携帯電話事業で、KDDIと住友商事の連合事業体との提携を結ぶ見通しになった。

### ・マレーシアの製粉MFMM、ミャンマー工場計画維持

マレーシアの製粉大手マラヤン・フラワー・ミルズ(MFMM)は、ミャンマーに工場を設置する計画を維持すると語った。設置場所や投資額などは明らかにしていないが、既に候補地を2カ所に絞り込んだという。

### ・インドネシアの携帯販売会社、ミャンマーに販路拡大

インドネシアの携帯情報端末の販売会社ティフォン(TiPhone)モバイル・インドネシアが、ミャンマーでの販売を計画している。自社端末のほか、世界的な有名ブランドを取り扱う考えだ。

### ・タイの空調モーター会社、ミャンマー進出

「パイオニア」ブランドのエアコン用モーターやポンプを製造・販売するタイのパイオニア・モーターは今年、ミャンマー、ラオス、ベトナムなどの市場開拓に力を入ると発表。

### ・米企業がコカ・コーラ向け飲料用缶工場建設

米国の容器メーカーのボール・コーポレーションは、ミャンマーに清涼飲料を充填するための缶を作る工場を建設する。2015年半ばに工場を稼働させ、同国に製造拠点を構える米コカ・コーラなどに缶を出荷する。

### ・ベトナムのIT大手FPT、ミャンマーで携帯基地局合弁

ベトナムの情報技術(IT)大手FPTはこのほど、ミャンマーのイラワジ・タワーズ・アセット・ホールディング(ITAH)と合弁企業を設立し、携帯電話基地局を設置することで契約を交わした。

### ・大和証券G、ミャンマーのコメ販売大手と助言契約

5/22、大和証券グループ本社は、ミャンマーでコメの集荷・加工・販売を手掛ける国策の民間会社ミャンマー・アグリビジネス・パブリック・コーポレーション(ヤンゴン市)の株式上場を支援するため、大和証券など3社がアグリビジネス社と助言契約を結んだと発表した。

大和は来年10月のミャンマー国内での証券取引所開設を

### ・インド二輪TVS、ミャンマー市場に参入

インドの二輪車大手TVSモーターが、ミャンマー市場に参入したことが分かった。TVSはこのほど、ミャンマー第2の都市マンダレーの中心部に販売店を開設した。

### ・加のマニユライフ、ヤンゴン事務所を開設

5/24、カナダの金融大手マニユライフは、ヤンゴンで駐在員事務所を正式にオープンしたと発表。70年ぶりに同国へ再進出を果たした。

### ・居酒屋てけてけがミャンマー進出

東京首都圏で居酒屋「てけてけ」などを展開するユナイテッド&コレクティブ(東京都港区)が、ヤンゴンに「teke teke Yangon Main Branch」をオープンした。なお、開発中のティラワ工業団地内にも進出を予定しているという。

### ・外資4社、MAPCOが穀物基地建設で連携

ミャンマーのコメ大手ミャンマー農業ビジネス公社(MAPCO)は、ミャンマー近郊にあるティラワ経済特区への穀物

輸出基地の建設で、外国企業4社(日本、中国、香港、シンガポールの企業)と連携する。

•**カタール通信、携帯設備の建設急ぐ**

ミャンマーで携帯電話事業に参入するカタールの通信会社Ooredooは、年内の事業開始に向けて通信設備の建設を急いでいる。現時点で 100 基にとどまる通信用基地局の設置数を年末までに 1,000 基まで増やし、建設中のデータセンターの早期完成を目指す。

•**ラオス系、ミャンマーで太陽光発電事業**

ラオスのサンラボブ (Sunlabob) とミャンマーのレリテック (Relitec) は、ミャンマーで太陽光発電事業を展開する。

•**タイ輸出入銀行、発電プロジェクトに1億ドル融資**

タイ輸出入銀行は、東洋エンジニアリング (TEC) のタイ関連会社トーヨー・タイ・コーポレーション (TTCL) がミャンマーで手がける発電プロジェクトに、1億ドルの融資を発表。

•**タイのトーヨー・タイ、モン州に大型石炭火力発電所建設**

東洋エンジニアリング (TEC) のタイ関連会社トーヨー・タイ・コーポレーション (TTCL) は、ミャンマー東部モン州に大型の超臨界圧石炭火力発電所を建設する。投資額 2,700 億円の事業で総発電能力は同国最大級の 1,280MW。

•**中国のエネルギー大手会社、シャン州で水力発電所開発**

ミャンマー政府は、中国のエネルギー大手、漢能控股集团と共同で、東部シャン州などを流れるサルウィン川水力発電所を開発する。建設するのはクンロン水力発電所。発電所の出力は 1,400 メガワット (MW)。

•**石油取引の世界大手、ミャンマー投資相次ぐ**

スイス系のピューマ・エナジーが石油製品向けの港湾施設を建設する。オランダ系の世界最大手ヴィトールがヤンゴンにガソリンや軽油の貯蔵基地を建設する。

以上